

第四号

びっくり! エコ新聞

小学校のみんなは、かぞくといっしょにみてね



びっくり! エコ実行委員会
MAIL: info@eco100.jp
FAX: 075-254-8099

京都には「始末の心」が息づいていると言われます。みなさんは、どんな心が知っていますか？また、その心を生かしたごみ削減の取組は成功するのでしょうか？6月20日(土)に京都大学百周年時計台記念館で開催された特別シンポジウムでは、ごみ問題の解決に向けてスタートする「しまつのこころ条例」※1と2R※2について話しました。

京都では、ごみの量をピーク時の半分に減らすため条例を改正し、2015(平成27)年10月1日から、新しい取組を始めます。この条例は、そもそもごみは出さないようにする2Rを促進することを第一に掲げ、出たごみはきちんと分別してリサイクルするという内容で、「しまつのこころ条例」という愛称をつけられました。今日は、2Rをテーマに様々な立場から話題提供をお願いします。

出席者
門川大作(京都市長)
酒井伸一(京都大学環境科学センター長)
庄子真憲(環境省廃棄物・リサイクル対策部循環型社会推進室長)
佐伯久子(京都市地域女性連合会長)
堀場弘之(「京料理六盛」主人)
京都市立西京高等学校

2R研究プロジェクトチーム
コーディネーター
酒井伸一先生

2Rを
テーマに

食べ残しや手つ
かず食品は「食品ロス」と呼ばれる大きな問題で、私は京料理の店として「食べ残しが口」に取り組んでいます。

**食べ残し
ゼロに挑戦中**

堀場弘之さん

食べ残しや手つ
かず食品は「食品ロス」と呼ばれる大きな問題で、私は京料理の店として「食べ残しが口」に取り組んでいます。お客様から注文を受けるときに、アレルギーや苦手な食べものを聞いておくと、食べ残しはだいぶ減ります。それでも残ったお料理は、安心して食べられるもので、保冷剤を入れた容器で持つて帰っていただくことができます。お客様にもごみの減量についてご理解いただけます。

**次の一
世代のために**

門川大作市長

日本全体としてごみは減ってきていますが、最近は横ばいで、リユースびんの使用が減つてペットボトルや缶が増えているという問題もあります。国としてはリサイクルより前の、2Rの取組を進めていくよう、社会や経済の仕組みも含めて考えています。環境省では、なにがどのくらい環境によいか数値でわかるように「3R行動見える化ツール」※3を開発してホームページで確認できるようにするほか、全国各地のユニークな取組例を紹介しています。なかでも京都の取組は、先進的な例として全国に発信していきたいと思います。

**2R活動を
支援します**

庄子真憲さん

私たちが一日の中で一番長い時間を過ごす学校のごみを減らすため、まず教室から出るごみの組成調査を行いました。その結果、紙ごみが圧倒的に多いこと、それから「かさ」としては食品包装のプラスチックごみが問題だということがわかりました。特にプラスチックごみを減らすためには、高校生の私たちだけでは解決できない問題が多いため、メーカーや消費者の意識を含め、社会全体で考えていかなければならぬと強く感じました。

●意識調査チーム



世界に通じる取組

【対象】 小学生～高校生 ※小学生は保護者同伴
※参加後、記事やレポート、ポスター等（スタイルは問いません）を提出して頂くことが前提となります。
【人数】 40名程度（先着順）
【集合】 時間▶8:00 場所▶京阪三条口一タワー ※貸切バスでの移動になります。
【応募締切】 7月31日（金）決まった方には後日詳細をお知らせします。

【参加費】 1人 2,000円（集合から解散場所までの旅費、入場・体験料、昼食代金を含む）※付き添いの方も同じ金額です。
【応募方法】 【1】お名前 【2】学校 【3】学年 【4】住所 【5】電話番号 【6】FAX番号（ある場合）
【7】メールアドレス（できればPC）【8】参加を希望する理由を書いて、往復ハガキで裏面宛先までお申込みください。



京都大学靈長類研究所
松沢哲郎先生



京都造形芸術大学
京都大学元総長 尾池和夫先生

「しまつのこころ」と環境について学ぶ旅

開催日：2015年8月10日（月） 8:00～18:10

※交通事情により時間が前後することがありますので、余裕をもってご参加ください。

私たちの暮らす地球では、様々な生き物が支えあって暮らしています。今回は、愛知県の犬山まで足をのばし、京都大学靈長類研究所と日本モンキーセンターを訪れます。靈長類の暮らしや知恵に触れると同時に、環境とのかかわりについて学びます。



「京の始末の文化を S2Rに排むる世界に」

エコ～んど・京大 2015 初夏の陣 ぐすちゃんフェスタ



S2Rに排むる世界に

世界に排むる世界に

みんなの力で
ごみを減量

佐伯久子さん

学校のごみ削減をめざす

紙ごみチーム

佐伯久子さん

佐伯久子さん</p